

# 全国ダイバーシティネットワークの活動

文部科学省科学技術人材育成費補助事業（2018年度～2023年度）  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））



O-Progressive Initiatives of  
Empowering Network for Diversity

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



全国ダイバーシティネットワーク 実施責任者

大阪大学理事・副学長 工藤 真由美

2020年7月3日（金）

全国ダイバーシティネットワーク組織 第3回幹事会

# 全国ダイバーシティネットワーク

女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組む  
諸機関をつなぎ、国内外の取組動向の調査やその経験、  
知見の全国的な普及・展開等を図る。

## 2018年11月26日 全国ダイバーシティネットワーク組織 の設立

フェイス・トゥ・フェイスで事例や課題を共有。

- 全国を8ブロックに分け、ブロックごとに幹事大学を置き、各ブロックにおける機関の連携強化、情報の共有及び取組の活性化を図る。
- 幹事大学による「全国ダイバーシティネットワーク組織幹事会」を設置し、情報と課題の共有を図る。



現実ネットワークと  
仮想ネットワークの協働

## 2019年3月29日 全国ダイバーシティネットワークプラットフォーム の構築

ウェブサイト <https://www.opened.network/> を開設

し、参考となる事例等の情報を発信。

- 事業の概要、各ブロックの活動、参考事例、イベント等情報を収集・発信。
- 大学・研究機関・企業の実態調査の実施。
- オープンで多様なオンライン上のコミュニティを形成。



# 全国ダイバーシティネットワーク組織①

## 全国規模のダイバーシティネットワーク

参画機関数

**154**

(2020.4.30現在)

前倒しで  
目標達成

KPI : 2023年度120機関

地域ブロック・幹事大学一覧

北海道ブロック	北海道大学、室蘭工業大学
東北ブロック	東北大学、山形大学、岩手大学
東京ブロック	東京農工大学、東京大学、お茶の水女子大学
関東・甲信越ブロック	筑波大学、新潟大学、千葉大学
東海・北陸ブロック	名古屋大学、金沢大学
近畿ブロック	大阪大学、京都大学、神戸大学、立命館大学
中国・四国ブロック	岡山大学、広島大学、徳島大学、愛媛大学
九州・沖縄ブロック	九州大学、長崎大学、宮崎大学

●中国・四国ブロック：22 機関

●東海・北陸ブロック：20 機関

●北海道ブロック：6 機関

●東北ブロック：7 機関

●関東・甲信越ブロック：13 機関

●近畿ブロック：37 機関

●東京ブロック：37 機関

●九州・沖縄ブロック：12 機関

## 女性研究者活躍支援奨励制度WGの設置

座長： 国立大学法人お茶の水女子大学 森田 育男 理事・副学長

## 全国ダイバーシティネットワークシンポジウムの開催

2020年12月14日（月） **オンライン** で開催

### 来賓挨拶

- 文部科学省（予定）
- 国立研究開発法人科学技術振興機構（予定）

### 講演

- 島谷庸一氏（株式会社資生堂 代表取締役副社長）
- 村木厚子氏（大阪大学男女協働推進センター招へい教授）
- 西尾章治郎（大阪大学総長） 他

### パネルディスカッション

- テーマ「ウィズコロナ時代のダイバーシティ（仮）」

## 地域ブロックの活動

近畿ブロックは **オンライン** で会議とセミナーを実施予定

# 全国ダイバーシティネットワークプラットフォームの運用



ウェブサイトを開設し、参考となる事例等の情報を発信

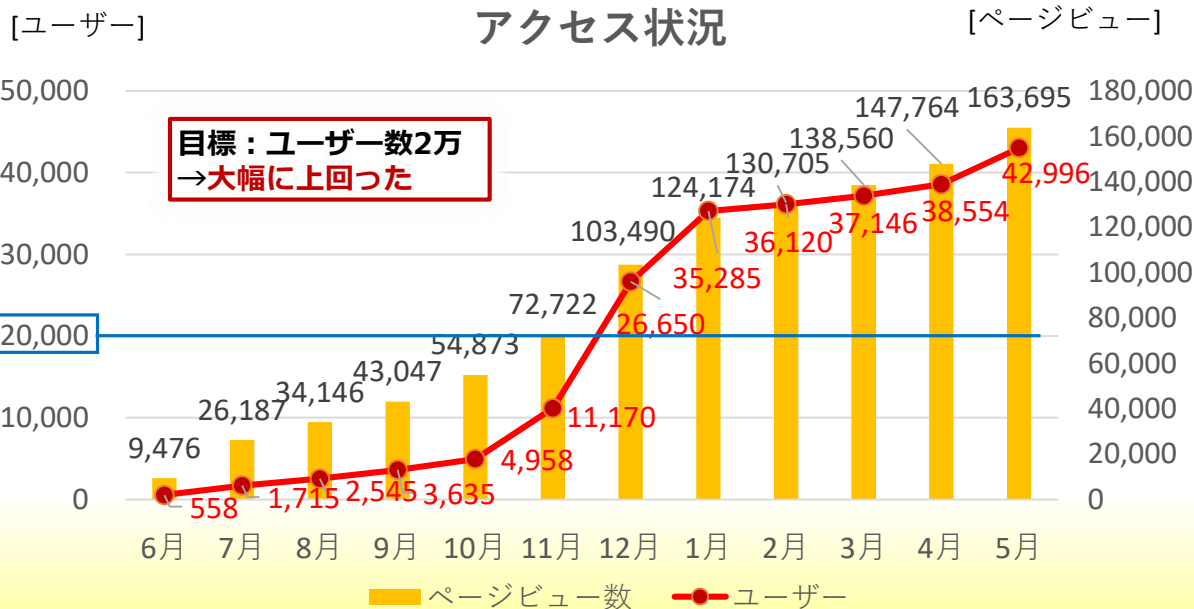
<https://www.opened.network/>

2020年6月より、  
ウェブサイトに掲載した情報のお知らせを  
定期的に配信

## 新型コロナウイルスへの対応

◆各機関の一時預かり保育、在宅勤務等の教職員の勤務に係る対応の情報を収集し、全国ダイバーシティネットワーク参画機関47機関の情報を掲載。  
ページビュー数：1,379 (3月～5月)

◆緊急事態宣言が発令され、どのように女性研究者が対応しているか、投稿を募集し掲載。  
企画名：「Stay Home！」女性研究者たちはどうしている？！  
ページビュー数：1,882 (4月～5月)



# 進化するウェブサイト

ターゲットを拡大し、相互交流を促進するウェブへと段階的に改修

## 第1ステージ：対象は大学等の男女共同参画部署中心

- 事業紹介
- 参画大学紹介
- 取組事例の掲載等 ※英訳あり
- ブロック活動紹介

## 第2ステージ：対象は研究者や企業関係者にも拡大

### ① 3種類のアンケート調査と結果の掲載

- 機関対象アンケート結果（日本学術会議と共同実施）：5月シンポジウム分科会テーマ
- 企業対象アンケート結果（日本IBMと連携実施）：5月シンポジウム分科会テーマ
- 研究者対象アンケート集計結果（日本学術会議と共同実施）

### ② 産学連携に向けて企業の事例紹介等

- 日本生命
- アシックス
- 他

### ③ ウイズコロナ問題とダイバーシティ→12月開催 シンポジウムのテーマ

- 各大学の対応事例
- 女性研究者 STAY HOME

## 第3ステージ：2021年度の自立化に向けて産学連携の強化等

大阪大学が責任をもって運営

## 全国大学・研究機関における男女共同参画・ダイバーシティの推進状況に関するアンケート調査

2019年2～6月に日本学術会議と全国ダイバーシティネットワークによって全国の大学・研究機関を対象として実施された「男女共同参画・ダイバーシティ 推進の進捗状況に関する大学・研究機関向けアンケート」結果に基づいて、日本の大学（短期大学除く）における男女共同参画推進への取り組みに関する課題を分析。

### ◆課題◆

- 1) トップ、経営層および教員上位職（教授）の女性比率の低さ
- 2) 女子学生の多い学問分野での女性に対するバリア
- 3) 高等教育への女性の参入はまだまだ：「すそ野」問題
- 4) 若手女性研究者：任用は進んでも不安定
- 5) 無意識の偏見とポジティブ・アクションへの無理解
- 6) 実施体制の弱さ・現状認識の不十分さ

## ダイバーシティとインクルージョンの観点からの企業職場環境調査

2019年9月～12月に、事業協働機関である日本アイ・ビー・エム株式会社と連携し、製造、通信、IT、エネルギー等の日本の企業（日系・非日系）6社を対象に「ダイバーシティとインクルージョンの観点からの企業職場環境調査」を実施し、5,218名が回答。

### ◆課題◆

- 1) 女性のキャリア推進における現状と課題
- 2) 男女ペイギャップの存在
- 3) 働き方に関する男女差の現状と課題
- 4) 職場のインクルージョン実現に向けた課題
- 5) 無意識の偏見



# 今後の展開に向けて

